

# GAO@100 Highlights

アメリカ議会委員会への報告書 GAO-21-270 の要点

## GAO が本調査を行った理由

アメリカ国防総省と国務省によると、米国同盟国である日本と韓国からの支援や協力は地域的・世界的な挑戦課題に対処するために不可欠だ。数十年にわたる日本に駐留している約 55,000 人の米軍、そして韓国に駐留している約 28,500 人の米軍は世界最大の前方展開部隊として両国との安全保障同盟を支えてきた。アメリカ国防総省は、米軍駐留を支援するため、年間数十億ドルを支出し、訓練施設用の数万エーカーから数十の施設を維持している。

GAO は 2020 年度の国防授權法により、日本と韓国に駐留する前方展開部隊から得られる安全保障の利点や暦年 2016—2019 年にかけて関連した費用について報告するという指示に応答しました。この報告書は、(1) 日本と韓国に駐留する米軍から得られる国家的、地域的な安全保障に対する利点、(2) 2016—2019 年までの日本と韓国に駐留する米軍に対するアメリカ国防総省資金、(3) 2016—2019 年までの日本と韓国が行った責任分担費用としての直接・間接的な貢献、を説明している。こうした目的に取り組むため、GAO はアメリカ国防総省と国務省の当局者および 9 名の政府外専門家にインタビューし、様々な関連文書と専門家研究を検討し、国防総省から得た関連費用データを分析した。

GAO-21-270 を閲覧のこと。さらに詳細な情報は、Diana Maurer の連絡先(202) 512-9627 または [maurerd@gao.gov](mailto:maurerd@gao.gov) および Jason Bair の連絡先(202) 512-6881 または [bairj@gao.gov](mailto:bairj@gao.gov) にお問い合わせください。

## 責任分担

### 日本と韓国に駐留している米軍に伴う利点と経費

## GAO の結論

在日米軍・在韓米軍から得られる国家的、または地域的な安全保障に対する 6 つの利点を識別しました。米政府当局者及び検討した関連文書、そして非政府組織の専門家は全般的言及した利点に同意しました。

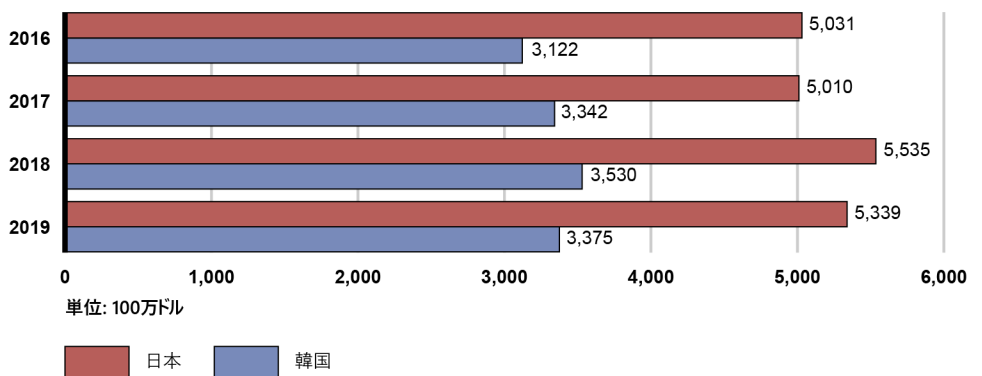
#### 日本と韓国に駐留している米軍から得られる安全保障への利点

- 地域安定および安全保障**  
侵略を阻止し、有利な力の均衡を確保することにより、地域の安定と安全保障を維持するのに役立つ。
- 非核化および核不拡散**  
北朝鮮の非核化達成のための努力を支援し、より一般的には核不拡散を促進する。
- 防衛能力および相互運用性**  
日本と韓国の防衛能力、また米国兵器システムの相互運用性を強化する。
- 強固な同盟関係**  
日本および韓国と米国の同盟関係を強化する。
- 不測事態への対応**  
地域全体の軍事的、非軍事的な不測事態（自然災害など）への迅速な対応を可能にする。
- 自由なインド太平洋地域を維持**  
優れた統治と経済的繁栄を含む自由なインド太平洋地域を促進する。

出典：関連文書の検討、国防総省から得たデータの分析、専門家研究、国防総省および国務省当局者および 9 名の非政府組織の専門家とのインタビュー。 | GAO-21-270

2016—2019 年まで、アメリカ国防総省は日本に駐留する米国陸軍、海軍、空軍、海兵隊を支持するためおよそ 209 億ドル（2.4 兆円）の資金を義務付けました。韓国に駐留する米軍支持は同様およそ 134 億ドル（1.6 兆円）の資金を義務付けました。資金は軍人員、運用と維持管理、家族用住宅の運用と維持管理、家族用住宅の建設、軍事建設など 5 つの範疇に分類しました。

#### 日本と韓国に駐留している米軍支援のためアメリカ国防総省支出、2016-2019 年 暦年



出典：国防総省データのGAO分析 | GAO-21-270

アメリカ国防総省当局者や DOD から得られたデータによると、2016—2019 年にかけて、日本政府は責任分担として米軍駐留支援のためおよそ 126 億ドル（1.5 兆円）、そして韓国政府は同様およそ 58 億ドル（6701 億円）を直接財政や現物支給など様々な状態で提供しました。